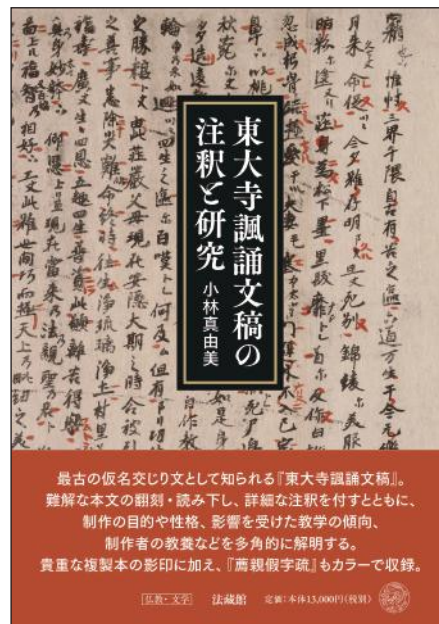


東大寺諷誦文稿の 注釈と研究

仏教・文学

こばやし まゆみ
小林真由美 著 ▼ A5判・上製カバー・512頁・定価14300円

2026年3月刊行



最古の仮名交じり文である本書の翻刻・読み下し・語注と、成立の目的や教学的背景を解明した論考を収める。複製本影印をカラー収録。

【目次】

影印篇

『東大寺諷誦文稿』(佐藤達次郎刊複製本)

『薦親假字疏』(東京大学文学部国語研究室蔵本)

注釈篇

凡例

注釈

『東大寺諷誦文稿』段落一覧表

研究篇

序章(附・研究篇各章概要)

第一章 『東大寺諷誦文稿』の成立年代について

―『大乘本生心地観経』の受容―

第二章 『東大寺諷誦文稿』の表記と文体について

第三章 平安時代初期の願文について

第四章 浄土と穢土―法相教学の継承―

◆著者略歴

小林真由美(こばやし まゆみ)

一九六三年、宮城県に生まれる。成城大学大学院文学研究科国文学専攻満期退学。博士(文学)。現在、成城大学文学部教授。
著書に『日本霊異記の仏教思想』(青簡舎)。共編著に小島孝之・小林真由美・小峯和明編『三宝絵を読む』(吉川弘文館)、小林真由美・北條勝貴・増尾伸一郎編『寺院縁起の古層―注釈と研究―』(法蔵館)、小林真由美・鈴木正信編『日本書紀の成立と伝来』(雄山閣)。

第五章 水の中の月―天台教学の受容(1)―
第六章 四弘誓願と菩薩戒―天台教学の受容(2)―
第七章 『東大寺諷誦文稿』の引用経典―疑経の系譜―
終章 『東大寺諷誦文稿』の来歴と東京大学蔵『薦親假字疏』について
初出一覧
あとがき
索引

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

法蔵館

定価14300円

ご住所

小林真由美 著

東大寺諷誦文稿の

注釈と研究

お電話

お名前

ISBN: 978-4-8318-7588-4 C 3015

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp